



近年、わが国、世界において大洪水や巨大地震、火山噴火などが多発し、想定を超える規模での災害が頻発しており、この先「いつ、どこで起きるかわからない災害」に備える必要があります。

これらの災害のうち土砂災害に関する現状や災害から身を守るための知識や避難行動等、また、被災地の現状や復興状況、防災に関する様々な情報の「学ぶ場」として、「防災講演会in氷見市」を開催しました。



土砂災害から身を守るためには？ 防災講演会 in 氷見市

日時：平成30年11月25日（日） 13：15～16：00

場所：氷見市 いきいき元気館 3Fホール

参加数：約160人

■プログラム

基調講演 1「富山県の地震活動と土砂災害について」

講師 富山大学 名誉教授 竹内 章氏

基調講演 2「最近の土砂災害の実態について」

講師 国土技術政策総合研究所 土砂災害研究部長 山口 真司氏

氷見市からの報告

講師 氷見市 地域防災課 地域防災担当 小野 正蔵氏

活動報告

講師 NPO法人 富山県防災士会 事務局長 佐伯 邦夫氏

共催：氷見市 砂防防災講演会実行委員会

後援：国土交通省北陸地方整備局 立山砂防事務所 富山県土木部砂防課

協賛：富山県治水砂防協会

(一社)富山県建設業協会 氷見支部 (一社)建設コンサルタンツ協会 北陸支部
(一社)富山県測量設計業協会 富山県立山カルデラ砂防博物館

<実行委員会の構成団体>

(一社)斜面防災対策技術協会 富山支部 (NPO法人)富山県防災士会
(一社)北陸地域づくり協会 富山支所 立山山麓防災・安全対策協議会
(NPO法人)富山県砂防ボランティア協会 立山・神通砂防スペシャルエンジニア(T・JSSE)
立山砂防女性サロンの会

事務局：立山砂防女性サロンの会 (株)よしともコミュニケーションズ内)

開会の挨拶



尾畑 実行委員長

林 氷見市長

講演者の方々



竹内 章氏

山口 真司氏



小野 正蔵氏

佐伯 邦夫氏

竹内氏：近畿・中部は、ひずみエネルギーの集中域。氷見地域の地下は起震断層の三つ巴。「災害に強い街づくり」「身の安全確保」「近所・地域の協力」が重要。

山口氏：これまでにない大雨・地震・火山噴火等、規模の大きい災害頻発の傾向。被害の拡大は、社会構造の変化も反映。避難ルートや方法までを含めた「地域避難ルール」が大事。

小野氏：氷見市では、情報伝達手段の充実・備蓄品の分散配置を図り、防災リーダーの育成として防災士育成を支援している。

佐伯氏：防災士は富山県内で1,259名。地域防災力の向上に努め、自治体との緊密な連携を図り、今後も活動が続けていく。

一立山砂防女性サロンの会一

土砂災害の恐ろしさ、砂防事業の必要性を女性の立場から子や孫、地域の方々に語り伝えていくことを目的に設立された、立山砂防事業の女性サポーターの会です。当会は、「防災思想の普及」の顕著な活動に対して「平成28年 防災功労者内閣総理大臣表彰」を受賞されました。